



▲写真左から「あばれ祭」、「いしり貝焼き」、「アエノコト」、「ブリ定置網漁」  
(写真提供・能登町)



## いま能登がアツい理由。

本年6月、能登町を含む能登半島北部4市4町の「能登の里山里海」が、日本で第1号となる『世界農業遺産』に認定されました。ここは、山の幸がもたらす「農産物」、日本の原風景とも言える「景観」、日本酒作りの能登杜氏などの「伝統的技術」、アエノコトやキリコ祭りの「文化・祭礼」など、何世紀にもわたり、暮らしや営みの中で育まれてきた地域資源を多く有する土地です。

# 姉

# 妹

# 都

# 市

能登での時間は、あっという間に過ぎ、ホームステイ先を出発する朝がやってきました。過ぎた時間は短かったけれど、一緒にいたような感覚が不思議で、仲良くな

# 能

# 登

# 町

### 再出発する姉妹都市交流

「姉妹都市としての関係を再構築していきたい。」  
7月29日、肥後正弘市長は、石川県能登町を訪問し、持木一茂町長に、今後の関係性について考えを伝えました。

持木町長も「両自治体が合併を経験したが、互いの意志の確認が取れた。今後も交流を活発に」と回答。  
遠く離れた自治体の首長会談は、交流の歴史に新たな1ページを記しました。

### 友好を築き上げた13年

能登町（旧能都町）とは平成7年に、旧野尻町が姉妹都市協定を締結。友好使節団派遣や、物産展

への出展、中学生のホームステイ受け入れなど活発な交流が図られてきました。

平成22年、旧野尻町は合併し小山市へ。能登町との関係は合併協議会で、存続と決定されました。昨年は、口蹄疫の影響で交流事業は中止。しかし、能登町関係者から、口蹄疫や新燃岳噴火に対する心温かい支援があるなど、交流は継続しています。

### 多彩な魅力を誇る能登町

能登町は、能登半島の北東部に位置し、平成17年に能都町・柳田村・内浦町が合併して誕生しました。（位置は左図を参照）  
豊かな自然を背景とした産業が盛んで、農業は稲作を中心とし、ブルーベリー、能登牛が特産。漁

業は、イカ釣漁業とブリ等の定置網漁業が全国的にも有名です。また、国指定重要無形民俗文化財のアエノコトやアマメハギ、あばれ祭をはじめとする勇壮な祭り、国指定史跡である縄文時代の真脇遺跡など、歴史と文化に彩られたまちでもあります。

### 使節団が友好の架け橋に

合併後、小山市として初めての交流事業となった「小山市（野尻町）中学生能登町友好使節団」。7月30日、団員は能登町へ向けて出発しました。  
郷土のPRも行う団員は、男子5名、女子8名の13名。ホームステイ先の家族と、観光や様々な体験を通して、友好を深めました。（団員の紹介等は次ページ）

姉妹都市能登町 ～再出発する姉妹都市交流～